



# 公共施設の再編に関するアンケートを実施しました

市では、将来の公共施設のあり方についてご意見を伺うため、市民ワークショップを開催する予定でした。しかし、新型コロナウイルス感染拡大防止に向けた社会情勢を踏まえ、この市民ワークショップに代え、参加申込者にアンケートをお願いすることにしました。このニュースレターでは、公共施設マネジメントの取組と、アンケートの結果についてお知らせします。

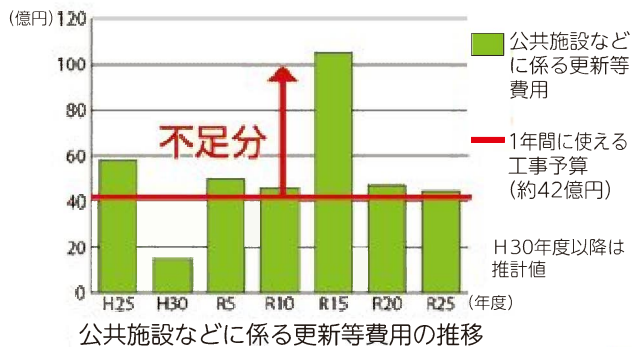
## 富士見市における公共施設の現状と課題

※更新とは、改修・建替えなど機能回復・改善に係る工事のことです。

### 公共施設の現状及び更新費用の見通し

市の公共施設の多くは昭和40～50年代に建設され、竣工から45～50年を経過しているため、その多くが更新(\*)の時期を迎えます。

下のグラフは、公共施設を想定耐用年数どおり更新したときの費用の積み上げの推計値です。令和15年度では、年間100億円を超える費用が必要と推計されています。



### 迫りくる「少子高齢化」の波

日本全国で「少子高齢化」が進んでいます。市の歳出は公共施設の更新費用だけでなく、高齢化によって介護・医療費などの社会保障費も大きく増える推計です。また、財源となる税収も、納税者である生産年齢人口が少子化によって減るため、今後の推計も横ばいまたは減収となる見込みです。



そのため → 今後は

- 公共施設の修繕や更新(\*)に充てられる財源は限られているため、全ての建物をそのまま維持していくことは困難です。
- 市民生活に必要な公共施設の機能を維持しながら、将来の行政サービスに求められる質・量・内容の変化に対応していくためには、公共施設の再編や民間活力の導入などにより、今より効率的・効果的な管理の仕方を検討していかなくてはなりません。

## 公共施設マネジメントの取組

市では、市民の皆様が将来にわたって安心・安全に公共施設をご利用いただくため、計画的に公共施設の再編等を行う「公共施設マネジメント」に取り組んでいます。

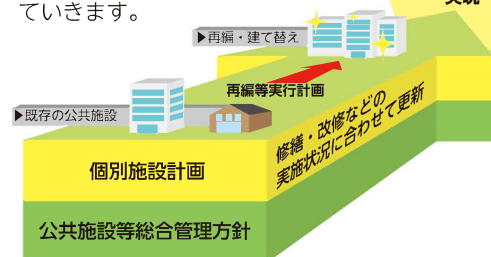
公共施設の再編に当たっては、一つの施設に複数の機能を持たせる「複合化」等の手法を用いて、公共施設の利便性の向上や総面積の削減につなげます。

時代に即した魅力的な公共施設を提供するため、今後も市民の皆様と一緒に考え、取組を進めてまいります。

### 公共施設マネジメントのイメージ

将来の市民の皆さんの生活に合った公共施設のあり方を継続して検討していきます。

時代に即した公共施設管理を実現



\* 公共施設再編の手法について、広報『富士見』12月号「公共施設の『これから』」に掲載しています。ぜひご覧ください。

## 第1回アンケート

テーマ：公共施設のあるべき姿と実現するための手法

調査期間：令和2年8月8日～21日

回答数：31票(41票配布 回収率76%)



調査の詳細は、左記の2次元コードからご覧いただけます。

### 第1回アンケートの結果(抜粋)

※結果は一部のみ掲載しています。その他の回答は上記の2次元コードからご確認ください。

#### 問1：今後の公共施設はどんな施設であることが求められると考えますか。

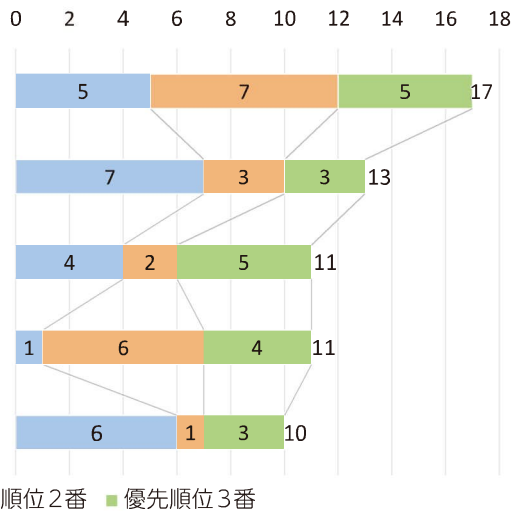
いつでも自由に使えるオープンな場所があり、各々が職場・学校や家庭以外の居場所として活用できる施設

様々な世代が交流し、地域性や文化などの継承や発展が起こる施設

地域の人たちが集まり、ボランティア活動など、助け合いの精神を育む施設

今後、増加していく高齢者にとって、生きがいとなるような活動ができる施設

子育て世帯に必要なサービスを提供し、様々な情報交換の場となる施設



○今後は、いつでも**自由に使える**オープンな施設、**多世代・地域**の交流の場となる施設、**高齢者の生きがいづくり**の場となる施設、**子育て世代の支援**につながる施設が必要だと考える方が多い傾向となりました。

#### 問2：今後、公共施設を変えていく手法として、有効だと考える手法は何ですか。

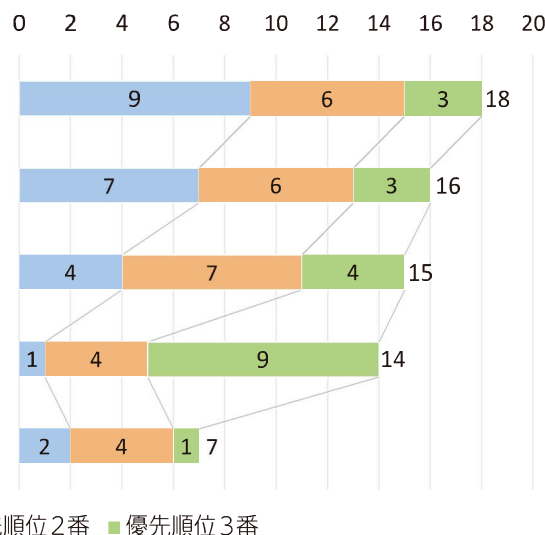
1つの施設に様々な機能を集め、利用者の利便性を高め、多様な利用者が集うことで交流性も高めていく。

部屋や施設を単独の用途に使うのではなく、レイアウトや設備の工夫により、様々な用途に合わせて多目的に使える空間に変えていく。

民間企業と協力し、カフェやコンビニなどの機能を施設内に取り入れ、利便性や利用機会を高めていく。

市が提供していた公共サービスを民間企業に任せ、民間企業の自由な発想で、公共サービスのあり方を変えていく。

飲食不可や要予約であることが多かった施設の利用制約を緩め、利用者の自由な発想で使えるように変えていく。



○今後、公共施設があるべき姿に近づいていくためには、**機能を1つの施設に集約することで交流性を高めること**、**場の使い方の柔軟性を高めること**、**民間企業の発想やサービスを取り入れていくこと**が有効だと考える方が多い傾向となりました。

## 第2回アンケート

テーマ：学校や公民館など具体的な公共施設の複合化  
調査期間：令和2年9月3日～16日  
回答数：35票(41票配布 回収率85%)



調査の詳細は、  
左記の2次元コ  
ードからご覧い  
ただけます。

※結果は一部のみ掲載しています。  
その他の回答は上記の2次元コードからご確認ください。

### 第2回アンケートの結果(抜粋)

問1：例えば市内の学校を建て替えることになった場合、学校にどんな機能を組み合わせると効果がありそうですか。

#### 建て替える施設



#### 組み合わせる施設

「放課後児童クラブ」	12票
「図書館」	11票
「公民館等」、「防災・避難機能」	10票(同数)

○学校に組み合わせる施設(機能)として、**児童生徒が利用する施設**のほか、**地域から求められる施設、災害時の拠点となる施設**を想定する方が多い傾向となりました。

問2：例えば市内の公民館を建て替えることになった場合、公民館にどんな機能を組み合わせると効果がありそうですか。

#### 建て替える施設



#### 組み合わせる施設

「高齢者福祉機能」	12票
「出張所」、「飲食機能」	8票(同数)
「小売店」	6票

○公民館に組み合わせる施設(機能)として、**地域から求められる施設**のほか、**身近に欲しい施設、交流を円滑にする施設**を想定する方が多い傾向となりました。

問3：例えば市内の公共施設を建て替えることになった場合、その公共施設にどんな機能を組み合わせると効果がありそうですか。

非常に多様な回答があったため、回答の一部をご紹介します。

集会所	+高齢者サロン+未就学児の施設+カフェ
市役所	+健康増進センター+子ども未来応援センター+老人福祉センター+ぱれっと
図書館	+各種学校+出張所+保育所+放課後児童クラブ+カフェ+ワーキングスペース
保育所(園)	+高齢者福祉施設+児童館+地域交流スペース(交流センター、コミュニティセンター)

\*皆様からの回答やご意見は今後の検討の参考にさせていただきます。  
各回答の詳細やその他の回答については上記2次元コードから報告書をご確認ください。

## 公共施設に関することでお気づきの点やご意見などの抜粋

- 特定の人だけがが多く使用することなく、みんなが心地よく使うための利用規定をしっかりと整備する必要があります。
- 公共施設が特定の利用者だけに利するものであってはならないと考えます。利用者にとって公共施設にアクセスしやすいことは重要ではありますが、市内に広く遍在させる必要はなく、その施設へのアクセス手段を設けていただければよいのではないのでしょうか。
- 各施設の修繕工事等の回数や費用を抑えるために建築工事の際に建材や建具等について慎重に吟味するようにしてほしい。
- 基本的には、利用時間帯や利用率などで集約していくべきだと思う。広い敷地が長い時間空いているのは根本的に何とかすべき。収入が減るなら少しでもくい止めるべきだし、カットすべき施設も出てくるのはいたしかたないと考える。複合施設の利用の日程調整などの課題があるが解決できることだと思うし、すべきだと思う。
- 公共施設の再編事情はわかるが、よくよく考えてもらいたい。民間活力の活用には反対。
- 一部の個人・団体等の利用頻度が高く、偏りが見受けられる。既得権になっていて、新たな利用者が参入しにくい感じがします。
- 現在の公共施設で市民の活用度が低いものは、廃止して、複合的な施設を数ヶ所に集中させた方がアピールできると思います。
- 民間企業とのコラボも良いと思いますがいかがでしょうか。他にはないことをやり注目をあび、市の人口を増やす。活性化させる。
- デイサービス(公共、低価格)のスペースとして活用する。高齢化の対策が急務。
- 子供達(大人もかもしれませんが)を取り巻く環境が悪くなっています。子供に関する施設を考える時、安全対策が必要。「ららぽーと」のような施設には、いつでも人がいます。その場所に行けば必要が満たされるからだと思います。公共施設も人々のニーズに応えられるものが満たされたら、人は利用すると思いました。
- 単体で施設を建てるより、複合的な施設に変えていく方が相乗効果も期待でき、また意外な組み合わせの施設ができると思いがけない効果が生まれそうで、そのような施設を増やして欲しいです。
- 単なる施設の統合や廃止は、市民にとって行政サービスの低下と感じられることから、民間活力の導入や、インターネット技術の活用による新たな行政サービスを併せて検討する必要があると思われ、本庁機能をどうするかも含め、統合的に検討する必要がある。
- みんなで利用する公共施設。どんな機能をもたせるのか？ではなくて、そこに集う人がどうとでも使いようがある施設にしておくべきなのかなあと。ハコモノが汎用性があると、人も育つと思います。



掲載のご意見は一部です。  
詳細は左記の2次元コードから  
報告書をご確認ください。

富士見市公共施設等総合管理方針の改訂及び富士見市公共施設個別施設計画の策定について、市民の皆様のご意見を伺うため、パブリックコメントの実施を予定しています。

是非、皆様のご意見をお寄せください。

\*詳細は、広報「富士見」でお知らせします。



お問合せ先：富士見市役所総合政策部管財課公共施設マネジメントグループ  
電話番号：049-251-2711(内線553・554)／メール：kanzai@city.fujimi.saitama.jp